



滝田医院ニュース

022-0001 岩手県大船渡市末崎町字細浦77番地 滝田医院
電話0192(29)3108 内科・循環器科・消化器科・呼吸器科・リハビリテーション科

第4号

発行日 2004(平成16)年10月21日

インフルエンザ予防接種について。

目次:	
インフルエンザ予防接種	1面
吸入方法お知らせします	1面
小児科の相談電話	2面
コンピュータ ダウン	2面
医師随想	2面

あつという間に秋も深まってきました。寒さとともに風邪もはやってきました。風邪にもいろいろな原因がありますが重症の風邪をひきおこすのが「インフルエンザウイルス」です。「インフルエンザ」は例年1月から3月にかけて大流行します。普通の風邪と違い、熱が高くなって仕事や学業に支障が出るが多くなります。またお年寄りや、こじらせて肺炎になってしまうこともあります。そこでお勧めするのが、インフルエンザの予防注射です。予防注射をしておけば、インフルエンザにかからなくて済む確率が高くなります。またかかってしまった場合でも軽症で済む場合が多いようです。ただし、注意していただきたいのは、この注射は決して全ての風邪を予防するものではないということです。「インフルエンザ」以外の風邪の予防に

はなりません。また体調が悪いときは接種できませんし、流行が始まってしまってから接種しても意味がありません。接種に適しているのは11月から12月いっぱいと考えてください。予約制になりますので、ご希望の方は当院受付までお申し込みください。(電話予約の場合はできれば午後にお電話ください。)またかかりつけの患者さんは医師または看護師と相談してください。高校生以上・大人は一回接種、中学生以下は二回接種。一回接種は3千円、二回接種は一回につき2千円、二回で4千円(いづれも税込み)となります。ただし65歳以上の方は市役所から補助金が出ますのでお安くなります。(大船渡市は2千円の補助が出ますので一回1千円となります。)

お知らせ

11月5日

(金曜日)

午後だけ

お休みします。

午前中は、通常の診療をおこないます。
午後は医師が出張のため、お休みします

吸入指導 はじめました。

気管支喘息や、風邪のあとの気管支が過敏な状態のときに使うお薬に吸入薬があります。吸入薬にも大きく分けてドライパウダー式(粉末を強く吸い込むタイプ)と加圧定量噴霧式(スプレーを押して比較的ゆっくり吸い込むタイプ)の2種類があります。使い方も、せきや喘鳴(ゼーゼーする)などで苦しいとき(発作時)に使うものと、発作の予防のために定期的に服用するものとに分かれます。このように吸入薬は、使用方法が馴染めなくて「なんとなく面倒だ」という理由で抵抗感をもつ患者さんが多いようです。しかし、喘息発作の予防効果は吸入薬が最も優れていることは証明されています。また内服薬(のみぐすり)のよ

うに全身の副作用の心配がほとんどないのも利点です。このようなすぐれた吸入薬を正しく使って



いただくために、当院では、医師による吸入指導を行っています。診察室で使い方をご説明したあと、実際に薬を一回分吸っていただきます。こうすればご自宅でも正しく安全に吸入薬を使うことができます。また喘息患者さんを主な対象にした「喘息教室」を院内で開催することを計画しています。ご期待ください。

県医師会 「こども救急相談電話」はじまる。

10月1日から岩手県医師会により「こども救急相談電話」が開設されています。これは夜間のこどもの病気への対処や応急処置などを相談できる電話窓口です。小児科勤務経験のあるベテラン看護師が相談に応じるようになっていきます。時間は午後7時から午後11時まで、年中無休です。電話番号は、019-605-9000です。誰が見ても具合の悪いお子さんは、夜間でも救急処置のできる病

院を受診してもらうのが先決であり、この電話窓口は不要です。

ご家族がどうしたらいいか判断に迷う場合やお薬について聞きたいことがある場合に利用してください。

電話する前に、①お子さんの年齢、性別、②いつから、どんな症状なのか、③食事や水分は摂っているか、④服用しているお薬の名前、など要点を整理してから相談すると良いでしょう。



コンピュータ ダウンして、ご迷惑をおかけしました。

10月14日午前中に当院を受診した患者さんは、受付のほうから、「会計は後日お願いします」と言われ、処方箋もいつもと違う手書きのものを手渡されて、戸惑ったことと思います。

実は当日、医療事務処理用のコンピュータのシステムが故障して、起動できなくなっていました。

幸い、業者さんの迅速な対応で当日午後から復旧しました。勿論、開業以来はじめてのことですが、当日受診した患者さんには多大なご迷惑をおかけしました。申し訳ございません。以後はこのようなことがないようにシステムの保守点検に努めたいと思います。



岩手町 石神の丘

ずいそう（最近思うこと）

7月に第3号を発行してから、はや3ヶ月たってしまいました。皆さんに忘れられないように早く第4号を発行しようという気持ちばかりが空回りしていましたが、ようやく発行にこぎつけました。

さて医療を取り巻く情勢は転換期を迎えています。第一面でご紹介したインフルエンザの予防注射は「自由診療」になります。個々の医療機関が自由に価格を決めていいのです。このため気仙管内でも各病医院によって値段が違います。これ

を予防だけでなく病気の治療にも部分的に導入するのが「混合診療」です。特定の医療分野と大病院に限ってという条件付ながら、近い将来混合診療が導入される模様です。どこか遠い世界の話ではなく、皆さんの日常生活にも深くかかわる問題です。ニュースに耳を傾けて一人ひとりがいかに対処すべきか、考えなければならない時代となっているようです。